

下水道管路施設調査報告書記載要領

1. 一般事項

- (1) 報告書は、本要領に従い、作成すること。
- (2) 様式は A4 判横書きとし、図面は、縮尺、寸法を明記し、製本すること。
- (3) 表紙は、調査年度、調査番号、調査件名、調査期間、発注者名、受注者名等を記入する。
また、背表紙にも調査年度、調査番号、調査件名、受注者等を記入すること。

2. 記載事項

報告書は、下記の事項について、内容を明記すること。

(1) 本管テレビカメラ調査

- ①調査目的
- ②調査概要
- ③案内図
- ④調査箇所図
- ⑤調査総括表（表－１）
- ⑥調査集計表（表－２）
- ⑦調査記録表（表－３，４）
- ⑧考察
- ⑨調査記録写真

(2) 目視調査

本管テレビカメラ調査項目に準ずる。

(3) 取付管調査

本管テレビカメラ調査項目に準ずる。

表-1 調査総括表

No.

[illegible]

表-2 調査集計表

No.

[illegible]

表-3 本管用調査記録表

No.

[illegible][illegible]

注1 考察欄には、管路施設の損傷状況に加え、道路交通概況生活環境概況、近接工事、損傷原因、損傷の進行性、損傷の新旧等について記述すること。

注2 計()内の数値は、スパン全体で評価する「管の腐食」、「上下方向のたるみ」、清掃等で除去可能な「樹木根の侵入」及び「取付管の突出し」を除いたものである。

表－４　ます及び取付管用調査記録表

																		No.																					
上流マンホール										区画			メッシュ			番号		枝		下流マンホール										区画			メッシュ			番号		枝	
ま す 番 号																																							
調査距離(m)																																							
管 本 数																																							
左側	内 容	ま　　す																																					
		取付管内																																					
		取付管管種																																					
		取付管管径																																					
		写 真 番 号																																					
																												DVD番号					〔　　巻〕						
																												カウンター番号					〔　　〕						
ま す 番 号																																							
調査距離(m)																																							
管 本 数																																							
右側	内 容	ま　　す																																					
		取付管内																																					
		取付管管種																																					
		取付管管径																																					
		写 真 番 号																																					
考　　察																																							

ます		異常内容												ます蓋・受け枠												側　　塊																							
異常箇所		蓋違い・ガタツキ			蓋の破損・劣化			蓋の摩耗			蓋裏錆			腐食			破損			クラック			側塊・ズレ			浸入水			樹木根の侵入																				
		A	B	C	A	B	C	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c																		
左　　側																																																	
右　　側																																																	
計																																																	
異常内容		底　　塊												取付管側				宅内側				ます　　計				備　　考																							
異常箇所		腐食			破損			クラック			底塊・ズレ			浸入水			樹木根の侵入			油脂・モルタル・土砂等の堆積			インパートの状況							管口のズレ			管口のズレ			A・a　B・b　C・c													
左　　側																																																	
右　　側																																																	
計																																																	

取付管		異常内容												管の腐食		上下方向のたるみ		管の破損		管のクラック		管の継手ずれ		浸入水		取付管の突出し		油脂の付着		樹木根の侵入		モルタル付着		取付管　計		備　　考			
異常箇所		a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	a	b	c	A・a	B・b	C・c					
左　　側																																							
右　　側																																							
計																																							

注1　考察欄には、管路施設の損傷状況に加え、道路交通概況生活環境概況、近接工事、損傷原因、損傷の進行性、損傷の新旧等について記述すること。

注2　計()内の数値は、スパン全体で評価する「管の腐食」、「上下方向のたるみ」、清掃等で除去可能な「樹木根の侵入」及び「取付管の突出し」を除いたものである。